

# 肝炎のお話し



西条市医師会会員  
福田医院  
院長 福田正彦

慢性肝炎が長く続くと、肝硬変となり、やがて肝臓がんでできてしまい、命を落としてしまう大変恐ろしい病気です。25年前にやつと発見されたばかりで最近まであまりいい治療法が見つかりませんでした。

## ■ウイルス性肝炎も飲み薬で簡単に治る時代

ウイルス性肝炎とはウイルスが肝臓に感染しておこる病気で、さまざまなウイルスがあります。

中でもC型肝炎、B型肝炎が主なものです。治療が難しい難病として知られていましたが、最近飛躍的に治療が進歩してきています。

## ■C型肝炎

C型肝炎ウイルスは、いったん体の中に入ってくると、肝臓に住み着いてしまい、そのまま放っておいてもなかなか出て行ってくれません。肝臓の細胞が少しずつ壊れていき、慢性肝炎という状態になります。

まず最初にインターフェロンという薬が使われ始めました。しかしあまり効果がないうえに副作用が強いため、治療がうまくいかない人がたくさんいました。その後インターフェロンも改良され、他の飲み薬と一緒に使うことで、最近では(ウイルスの型や量によりですが)半数以上の人が治るようになってきました。

さらに、平成26年9月には、ついにインターフェロンを使わず飲み薬だけの治療が始まりました。今までインターフェロンで治療したけど治らなかった方、副作用のためインターフェロンを中断した方、また高齢のためインターフェロンが使えなかった方などは、今度は飲み薬だけで治療することができま

す。C型肝炎のように完全にウイルスを退治することは難しいのですが、肝硬変、肝臓がんを防ぐことはできます。また、一度治っているように見えてまだB型肝炎ウイルスが体の中ですべていることもありますので、B型肝炎と言われた方や治っているといわれている方も、定期的な血液検査を行ってください。

## ■食べ過ぎで肝臓がんになる?

食べ過ぎ、お酒の飲みすぎによって肝臓に脂肪がたまってしまう病気を脂肪肝といいます。これはよく見かける病気で、健康診断で指摘された方も多いのではないのでしょうか。

健康診断で脂肪肝と言われた人は、必ずかかりつけのお医者さんに相談してください。また、脂肪肝にならないために、食べ過ぎに注意してください。特に油料理、炭水化物(ご飯、パン、お菓子など)の摂りすぎはいけません。

## ■定期的な検査

肝臓は沈黙の臓器と言われており、かなり病気が進行するまで何の症状もありません。血液の検査をしないと肝臓の様子はわかりませんので、健康診断で定期的な血液検査を受けましょう。

## ■B型肝炎

B型肝炎もC型肝炎と同じようにウイルスによっておこる病気です。自然に治ることもありますが、C型肝炎のように肝臓に住み着いてしまい、慢性化することもあります。こちらも飲み薬の治療薬が続々と発売されており、慢性肝炎を抑え込むことができま

今まではウイルスによる肝炎のように肝硬変や肝臓がんを引き起こすことはないといわれていたので、あまり問題にされていませんでした。しかし近年食事が欧米化してきたことで、程度の重い脂肪肝が見られるようになりま

## 脂肪肝にならないために 食べ過ぎにご用心!

